



長 崎 県
電力総連だより
NAGASAKI-KEN DENRYOKU SOUREN

新年号 平成28年 1月20日

発行所 長崎市城山町3-19電気ビル別館2F
長崎県電力関連産業労働組合総連合
TEL 095-861-0707 FAX 095-864-0707
発行責任者 本 多 毅
編集者 宮 本 晃 好



新春賀詞交歓会での祝龍踊 (長崎大学龍踊部)



**長崎県電力総連
会長 本多 毅**

明けましておめでとうございます。組合員の皆さまにおかれましては、ご家族お揃いで新しい年を清々しくお迎えのこととお慶びを申し上げます。また、年末年始に勤務された皆さまに心から敬意を表します。大変お疲れさまでした。

さて、昨年を振り返ってみますと、4月に施行された統一地方選挙において組織内議員「深堀ひろし」県議の再選を果たすことができました。電力関連職場の企業側・組合員の皆さまの総力を結集した結果であり、これまでのご支援に感謝申し上げます。6月には電源開発松浦発電所2号機が全面復旧しました。また、9月には九州電力川内原子力発電所1号機が11月には2号機が新規規制基準のもと全国初となる営業運転を再開しました。エネルギー資源に乏しいわが国にとって資源確保や地球環境に配慮しながら、経済的に、長期的に安定して電気をつくるのが大きな課題であり、原子力・火力・水力・風力・太陽光などによる発電をバランスよく組み合わせ、それぞれの特徴を最大限に活用したエネルギーミックスについての正確な情報を私たちが組織外へ発信していかなければなりません。

■健康と安全について

私たち労働組合の最大の使命は、雇用を守り安全で安心して働き続ける職場環境をつくることにあります。しかしながら、電力関連職場においては、全国で15名の死亡災害が発生しており、九州においても感電により1名の若者が尊い命を失いました。「行きます」と言って家や職場を出かけた人は「ただいま」と言う義務があります。「行ってきます」「ただいま」

は決して当たり前のことではありません。とても大切なことです。災害は「ただいま」と言えない状況にするのです。もし災害で命を失ったならば永遠に「ただいま」を言うことができず家族や同僚は「ただいま」を聞くことができなくなるのです。「安全と健康はすべてに優先する。」引続き安全衛生の取り組みをお願いいたします。みなさんが無事に「ただいま」と言って帰られますように。

■選挙対応について

本年7月の第24回参議院選挙には全国の電力関連職場を代表して、われらの「小林正夫」氏が3度目の挑戦をいたします。話はちょっとそれますが、昨年のラグビーのW杯で日本が南アフリカに勝利したことは記憶に新しいと思います。「ラグビー史上もっともすごい番狂わせ」といわれていますが、もともとラグビーはサッカーや野球に比べ、実力差がはっきり出て、大番狂わせが起こりにくいスポーツとして知られています。今大会で日本代表は「JAPAN WAY=日本流」をスローガンに低いタックルやパス主体の試合運びなど世界一過酷といわれる練習に耐え、技術と組織力で勝利をつかみました。残り2勝を含め決して偶然や運でなく実力による勝利だったといえます。選挙も偶然や運、組織人員が多いだけでは勝てません。これまで皆さまから寄せられた支援者カードを今後はその支援を無にすることのないよう、理解定着活動を強化していきます。選挙は一部の役員だけではすべての活動を賄うことはできません。一人ひとりの思いを一人ひとりの行動に移していただき、職場が一体となることが重要です。必勝に向けて長崎県電力総連の総力を挙げて取り組みますので引続き皆さまのご理解とご協力をお願いいたします。

最後に、本年が組合の皆さまとご家族にとりまして、安全で健康で希望に満ちた年となりますよう、お祈り申し上げます。

暮らしの安心 職場の活力 スクラム組んで アクション総連